

町財政は、借金の一括繰り上げ返済のための積立を毎年1億円するだけの余裕があります

今後5年間で5億円積立する予算提案を修正し、町民要望実現をめざします

今年度の一般会計予算は、46億8千万円です。金田町政は、芝生広場の借金4億6千万円を平成27年度の銀行借り換え時に、繰り上げ一括返済するため23年度から1億円づつ5年間で5億円を貯金する予定です。共産党議員団は、3月議会でも望んでいた中学校3年生までの医療費助成制度の実現などは、金田町政を高く評価しながらも、1千名近い陳情署名が提出されている防球ネット設置の要望には背を向ける態度を批判しました。そして借金返済の積立を1千万円に減らし、9千万円を活用して「駅上広場」を「グラウンド」に復活させ、防球ネットの設置、JA泉州前の町有地を「広場」化、そこに学童保育を移転させる財源をつくる修正案を提案しました。他の議員は討論もなく黙って修正案に反対しました。

金田町政は、介護保険料を引き下げる意向しめす

第5期(日24〜26)の介護保険料は第4期の状況をみて今年度中に検討されます。介護保険会計は黒字で貯め込み金は、昨年度末で二千八百万円、今年度末で三千四百万円の見込みです。これは本来、保険料を支払った高齢者に全額返金すべきお金です。共産党議員団は、3月議会の予算委員会で「第5期の保険料を決めるにあたり、保険料に繰り入れて引き下げてくださ」との質問。町当局は「国からも指示がきている」と引き下げる意向をしめしました。

★介護保険料の引き下げ 国保料の抑制

“1億円も余裕があるのなら”子どもたちや保護者の要望にこたえ 防球ネットを設置できる。JA泉州前の町有地を「広場」にします

少年野球に取り組む子どもがふえ左記のように町行政に対する陳情がだされました。ところが金田町政は「野球ができるグラウンドは1つでいい」と防球ネットを撤去し、たんなる「広場」に変え、4月から少年野球の練習に制限をかけました。共産党議員団は、3月議会でもグラウンドに復活させる予算確保の修正案を提案しました。子どもに「がまん」を求める自民党町議をはじめ、他の議員は本会議で黙って反対しました。しかし、潮風グラウンドよりも広い「駅上広場」は広域避難地指定のため遊具も設置できません。一番の有効活用は、防球ネットを設置して「多目的グラウンド」にすることです。みなさんと「いっしょにねばり強く取り組みます。」

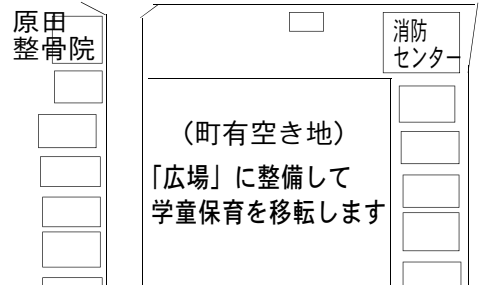
もと田尻中学校総合運動場に防球ネット設置などを求める署名 936名
中学校に軟式野球部の創設を求める内容の署名 1309名(子ども含む)

「駅上広場」を「グラウンド」に復活させ 防球ネットを設置します



高さ1.5mフェンスは約4千万円あれば設置できます(共産党議員団が企業に見積もりしていただきました)

JA 大阪泉州



★「駅上広場」を「グラウンド」に復活 JA泉州前の町有地を「広場」に復活、そこに学童保育を移転

新住民がふえ、税収もふえる 幼・保施設の拡充は当然です

今後10年間ほどは、府営吉見住宅に120戸の住宅開発が見込まれるため、保育所入所希望がふえることが予想されます。幼保一元化施設であるため現在、幼稚園3歳児保育が休止されています。近隣自治体では実施がはじまっています。新住民がふえ税収もふえるわけですから、それにふさわしく施設を拡充するのが行政の当然のつとめです。

★学童保育移転後の施設を幼・保で利用し 幼稚園3歳児保育を復活



現在、学童保育施設

幼・保施設

地続きの幼・保施設と現在の学童保育施設。JA泉州前の町有地を「広場」に整備して学童保育を移転、そのあとの施設を幼・保利用します。

「放送が聞こえづらい」対策で、問い合わせフリーダイヤルや 家庭用個別受信機を用意します

「拡声器の音が聞こえづらいので何とかしてほしいので何としようか。」と昨年実施した「町民アンケート」でもご意見をいただいています。田尻町が全町にいきたる計画で10ヶ所に設置している防災行政無線を受信するスピーカーからの音声が「聞こえづらい」というものです。そうなるのは、近年の住宅性能(気密性)の向上や、気象条件(風向き)などによるものです。この対策として全国の自治体で

★防災行政無線の改善・強化 避難所・避難方法の周知徹底

は、問い合わせのフリーダイヤルを設置したり、戸別受信機を用意しています。田尻町でも用意するように求めます。また「緊急 防災アンケート」で一番回答が多かったのは、避難所・避難方法の周知徹底です。



家庭用個別受信機 (ラジオとライトがついているタイプ)

★粗大ゴミ定期収集と負担軽減 分別収集をもっとわかりやすく

田尻町の分別は、電球・食器類、ビンの金属製のフタなど小さな可燃ゴミと机や家具などの大きなゴミをすべて「粗大ゴミ」として電話申込みにより、500円券を購入し、貼り付けて出すようにルール化しています。「金額設定は変えてほしい。コップ1つ傘1つ捨てるのにために家で保管して置かなければならず困っている。不法投棄に

つながらないためにも、もう少しゴミを出しやすい金額にしてもよい」などのご意見を参考に「粗大ゴミ(とりわけ食器類などの小さな可燃ゴミ)の定期収集と負担軽減(金額変更)」に政策化しました。「プラについてはきびしすぎる」「プラゴミは値段のシールがついていてもよいのか(回答 OKです)」「容器包装プラの分別でダメなものを書く書いて各家庭に配布してほしい」など具体的提案のご意見もいただいています、ありがとうございます。

アンケート集約結果は同時に折り込みのB4の別紙か「小川・吉開」のホームページをのぞいてください。